

1. タイトル:「DX 加速のためデジタル教育の大学「中抜き」化が進行
-ドイツ・フランス・日本の事例研究-」
2. 講師:iU 情報経営イノベーション専門職大学 教授 三澤一文氏
3. 日時:2024 年 11 月 14 日(木) PM6 時~8 時、オンライン形式

4. 内容:

- ①デジタル人材の育成に逼迫している産業側は、依然として遅滞としたペースの大学教育には満足できず、企業自らが Z 世代のデジタル教育に乗り出している。
- ②企業向けソフトウェア世界最大手の SAP 社は、世界 100 カ国以上、数千の大学と提携して独自のデジタル教育を展開して、広範な大学生向けに無償でオンライン教育プログラムを提供する。
ここでデジタル教育を受けると SAP 社の認定資格が得られ、世界のほとんどの SAP ベンダーとユーザー企業への就職が有利になる。
- ③フランスに本拠を置く教育機関の 42 は、多数の企業から資金援助を得て学費を無料として、Z 世代を焦点に世界中で高度なソフトウェア教育を提供する。
ここでの教育は、厳しい篩がかけられ、質の高いデジタルプロフェッショナルが育成される。
- ④日本国内の大学教育も、これまで以上に Z 世代のデジタル教育の加速が求められる。ビジネスモデルとして学費が実質無料の神山まるごと高専が考察に値する。
大手 11 社から総額 100 億円を基金に出してもらって、その毎年の運用資金で学生 1 名あたり 200 万円の授業料が実質優先される。また全寮制で学生を教育することで、大手 11 社の期待に応じて教育効果を上げる。
- ⑤全体として、「大学 IT 教育への民間企業の支援と教育の民主化」が進んでいる。

5. Q&A

- ・ソフトウェアの教育のあり方について
- ・SAP の戦略と教育の連動性について
- ・IT 系人材の育成について
- ・教育の民主化・無料化について